

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

5/10

論述ブースト No.11

臓器移植・脳死を論じる —— 死の定義・本人意思・家族の視点を整理する

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合
否判定を行ってきた当事者です。臓器移植・脳死の小論文で「脳死は死かどうか難しい問題です」という曖昧な感想論述で終わる
答案と、死の定義・本人意思・家族の視点の3軸で構造的に論証した答案の評価の差を、審査側として繰り返し経験してきた。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 臓器移植・脳死の小論文

東京大学・慶應義塾大学医学部・東京科学大学の推薦入試では、「脳死を人の死とすることの是非を論じよ」「臓器移植における
家族の同意の意義を論じよ」という小論文が出題される。死の定義・本人意思・家族の視点という3軸で論証できる受験生は採点
者（大学教員）に際立つ。

② 生命倫理・自律尊重原則の問題

「本人が移植に同意していても家族が反対した場合どうするか」という倫理的問いは、医学部推薦入試で出題される。自律尊重
原則という医療倫理の枠組みで論じられる受験生は感想論述との差が歴然とする。

③ 面接での「脳死と臓器移植についての見解」

医学部面接で定番のテーマである。3軸で即座に論じられる受験生は試験官（大学教員）に印象を残す。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	脳死・臓器移植の小論文	3軸の論証枠が曖昧な感想論述との差を生む
東京科学大学	生命倫理・死の定義の論述	自律尊重原則の枠組みが論証に深みを与える
京都府立医科大学・名古屋市立大学 医学部	臓器移植の倫理的論述問題	本人意思・家族の視点の3軸が採点者（大学教員） に際立つ
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「脳死と臓器移植の見解」型の口頭 試問	3軸で即答できる受験生として採点者に印象を残す

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

臓器移植・脳死の論述を「難しい問題です」という感想で書く受験生は、採点者が求める「構造的な論証力」を示せない。授業
の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）死の定義・本人意思・家族の視点の3軸で論証できる、（2）医療倫理の原
則を臓器移植問題に応用できる、（3）面接で3軸を使った即答ができる、という変化が起きる。

何十年も医学部の小論文・面接を審査してきた清光学院の講師陣は、臓器移植論述で「感想答案」と「3軸で構造的に論証した答案」
の評価の差を採点者として知っている。